

前回の検討会（2022/3/10：第11回） のご意見を踏まえた対応状況

令和5年3月15日

気象庁

近年の検討会のコメントと対応

日本版改良藤田スケールの導入以降の検討会における主なコメントを抜粋

検討会	委員のご意見	気象庁からの回答	現在の状況
第9回 2019/2/22	(現地調査時における) 気象と風工学の連携をしていきたい。風工学側からも情報を出していけるようにしたい。	これからの協力をお願いしたい。台風等でバックグラウンドの風が強い際に、被害が発生した際に、突風によるものかどうかの判断など、地方気象台だけではわからないが、風工学会の方々との連携でわかることもあるのではないかな。	連携の一つとして、日本風工学会風災害研究会(2022年12月27日)で気象庁の突風調査業務について説明した。
第10回 2021/3/23	観測機器による風速評定については、JEFによる評定と区別できるように示すこと。	実測値である旨を記述する。	HPの備考欄及び報告書において明記している
第11回 2022/3/10	評定数が少ない被害指標があるのはなぜか? 今後の検討に資するよう、入手した被害情報は残してほしい。	該当する被害度がない場合に不明扱いとしているケースがある。入手した被害情報を残すことについては、可能な限り対応したい。	出現が稀な被害があった場合は、検討会委員に資料を共有し、強さの評定に関する助言をいただいている。
	局所的な突風で被害指標や被害度が存在しない場合の評定はどうか?	規模が小さいものなどは、現地調査を行わずに自治体等の防災関係機関から入手した資料で可能な範囲の評定を行う場合がある。今後、被害指標や被害度が増えれば、より評定できるようになるものと期待している。	
	竜巻注意情報の利活用について、アンケートを取ってみてはどうか?	機会があれば検討したい。	気象庁が過去に実施したアンケートの結果を紹介する。

被害情報の共有

◆第11回検討会 委員のご意見

評定数が少ない被害指標があるのはなぜか？今後の検討に資するよう、入手した被害情報は残してほしい。

- 気象庁からの回答

該当する被害度がない場合に不明扱いとしているケースがある。入手した被害情報を残すことについては、可能な限り対応したい。

- 対応状況

出現が稀な被害があった場合は、検討会委員に資料を共有し、強さの評定に関する助言をいただいている。

◆検討会委員に情報を共有した事例（令和4年度）

- 令和4年5月25日 福島県二本松市（竜巻、約50m/s（JEF1））
普通自動車の横転があった。横転の様子が報道で大きく報じられたこともあり、検討会委員に現地調査で得られた情報を共有した。
- 令和4年8月17日 岡山県美作市（現象不明、約45m/s（JEF1））
鉄骨造倉庫屋根ふき材のめくれや飛散について、検討会委員に被害写真など、現地調査で得られた情報を共有し、突風の強さに関する助言をいただいた。
- 令和4年12月13日 新潟県佐渡市（竜巻、約65m/s（JEF2））
被害を覚知した時点で、令和4年で最大の被害となることが想定されたため、検討会委員に現地調査で得られた情報を共有した。

竜巻注意情報の利活用状況

気象庁では、気象庁が発表する各種情報について利用者の評価や要望等を把握し、業務の改善や業務目標の設定に活かすことを目的として、利活用状況の調査を実施している。このうち「気象情報の利活用状況に関する調査」では、竜巻注意情報の利活用状況調査を実施している。

◆気象情報の利活用状況に関する調査の調査事項（平成21年～令和3年）

平成21年度
(2009年)

- 竜巻発生情報の必要性
- 雷注意報発表時の竜巻発生注意の呼びかけの認知
- 竜巻注意情報の認知度、竜巻注意情報が発表される状況の認知度
- 竜巻注意情報発表時の行動（住民調査、ホームページ調査）

平成28年度
(2016年)

- 竜巻注意情報の認知
- 竜巻注意情報の防災行動（防災対応）における利用有無
- 竜巻注意情報の入手におけるモバイル端末利用有無とその経路
- 目撃情報を付加した確度の高い竜巻注意情報の認知
- 竜巻注意情報に対する要望

令和元年度
(2019年)

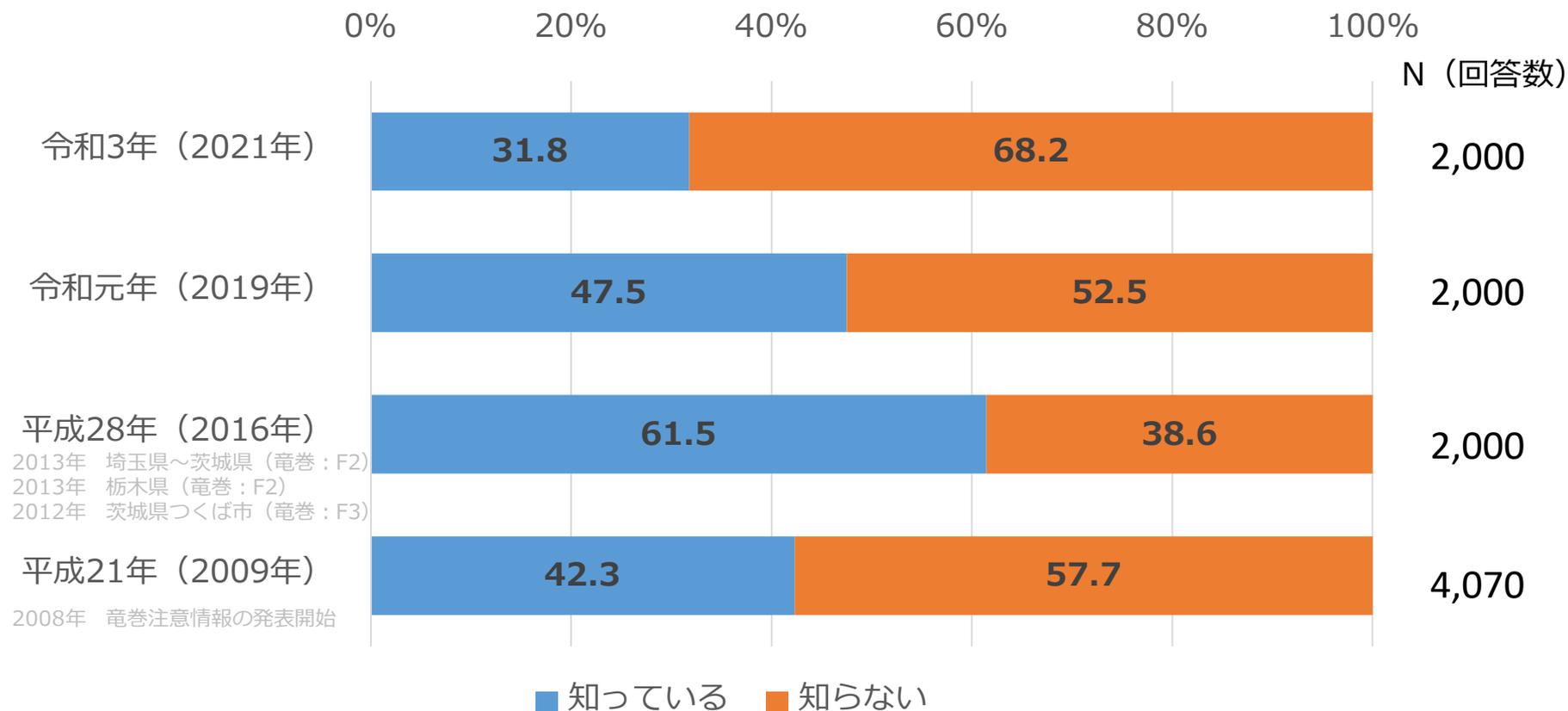
- 竜巻注意情報の認知度

令和3年度
(2021年)

- 竜巻注意情報の認知度

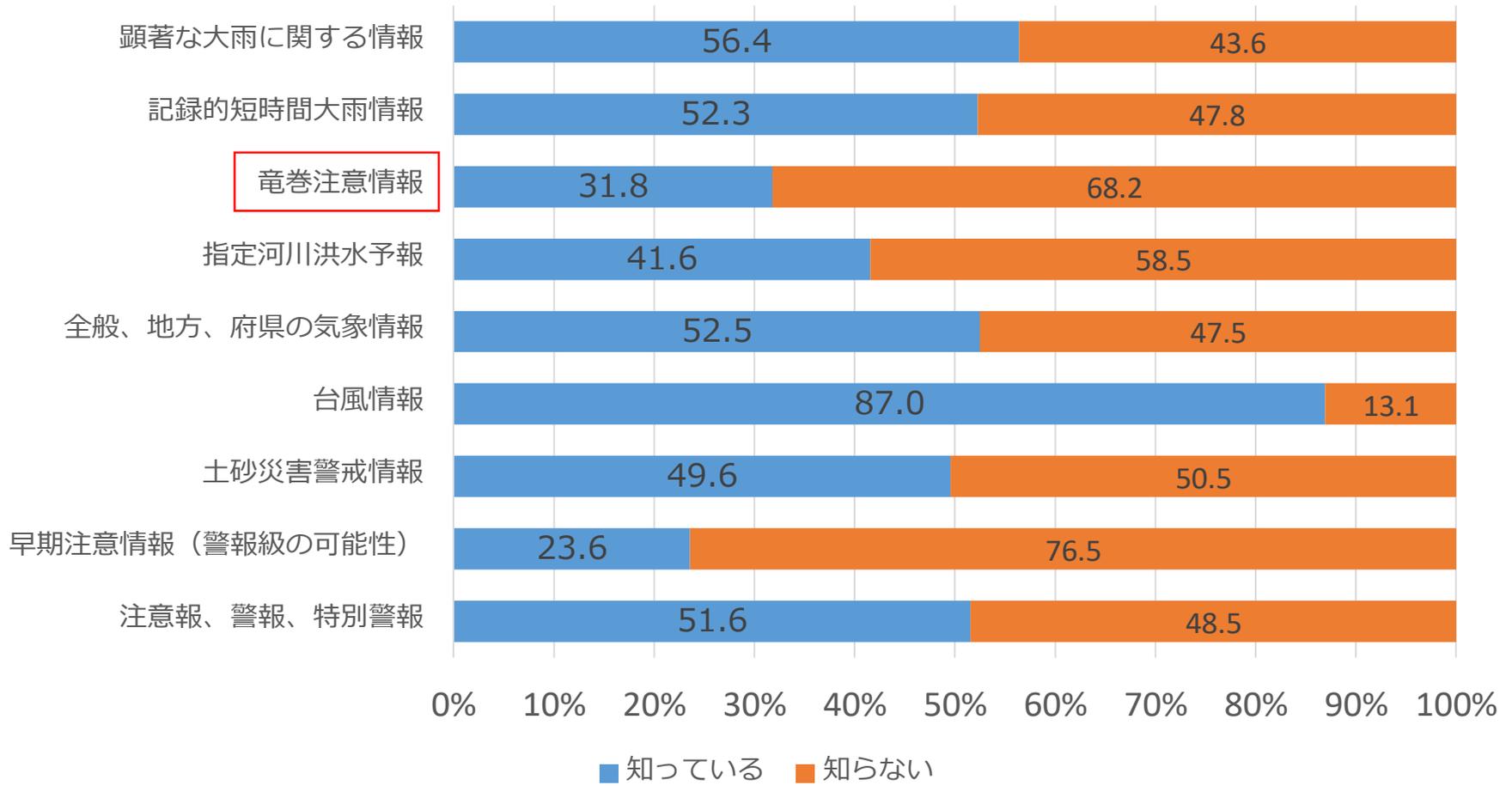
竜巻注意情報の利活用状況

竜巻注意情報の認知度（平成21年～令和3年）



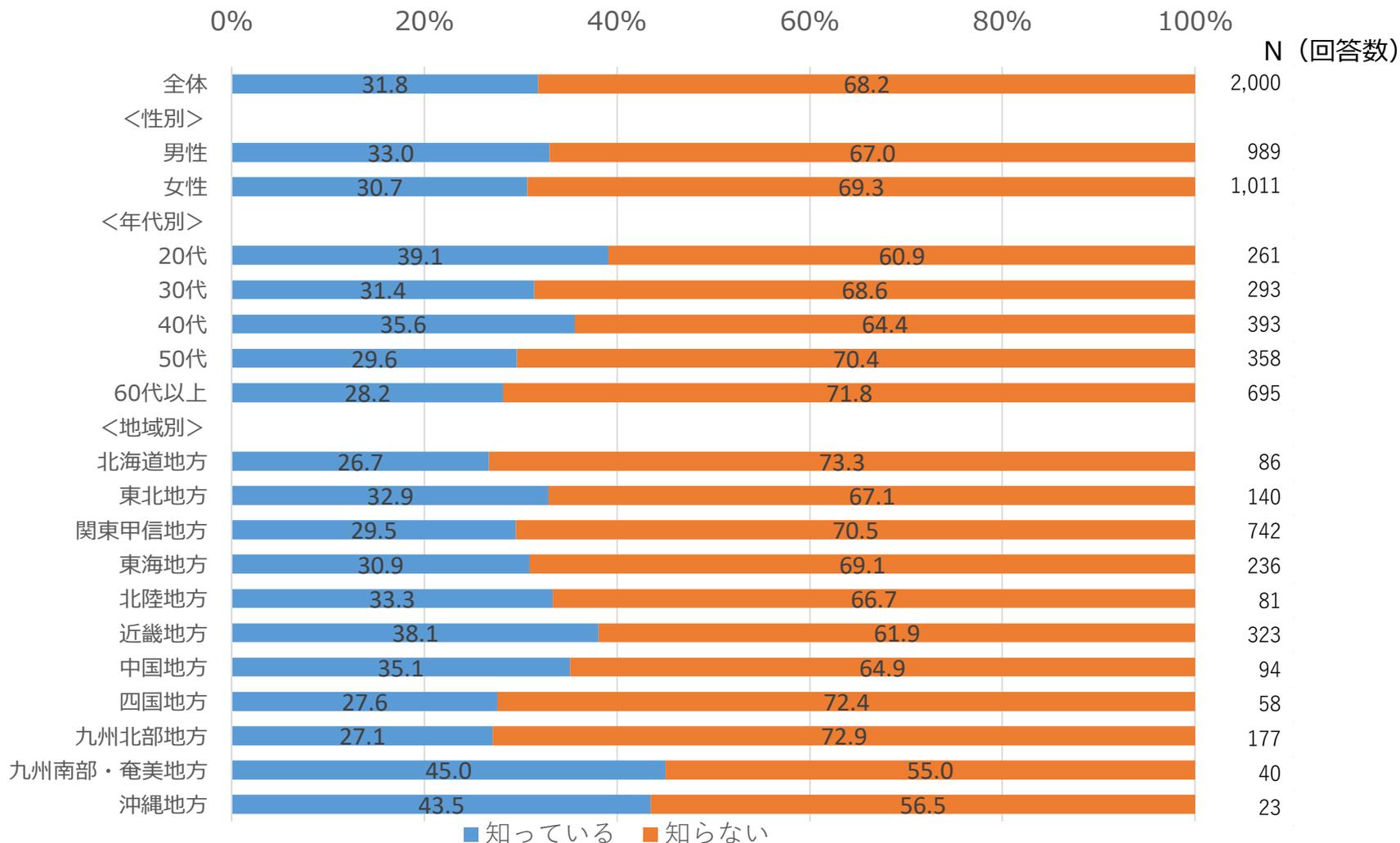
竜巻注意情報の利活用状況

他の防災気象情報の認知度との比較：令和3年調査



竜巻注意情報の利活用状況

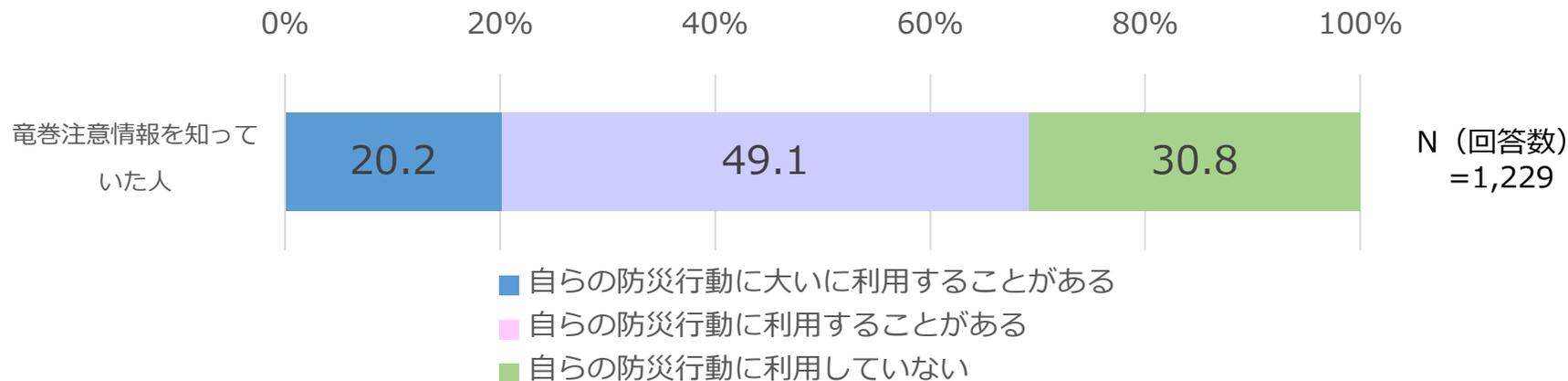
性別、年代別、居住地域別の認知度（令和3年調査）



竜巻注意情報の利活用状況

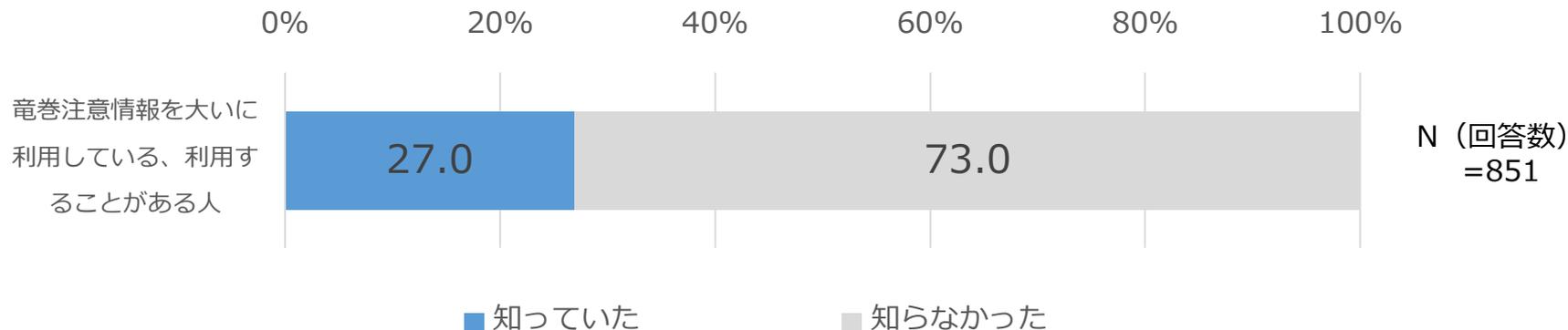
【平成28年度調査】

あなたは、「竜巻注意情報」を、自らの防災行動などに利用していますか。



【平成28年度調査】

目撃情報を付加した確度の高い竜巻注意情報の認知

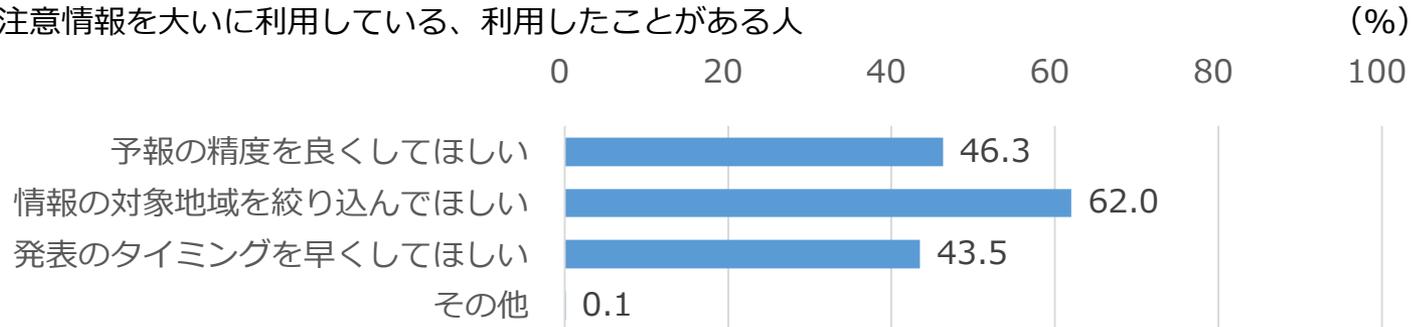


竜巻注意情報の利活用状況

【平成28年度調査】

「竜巻注意情報」についての要望（当てはまるものを全て選択）

対象：竜巻注意情報を大いに利用している、利用したことがある人

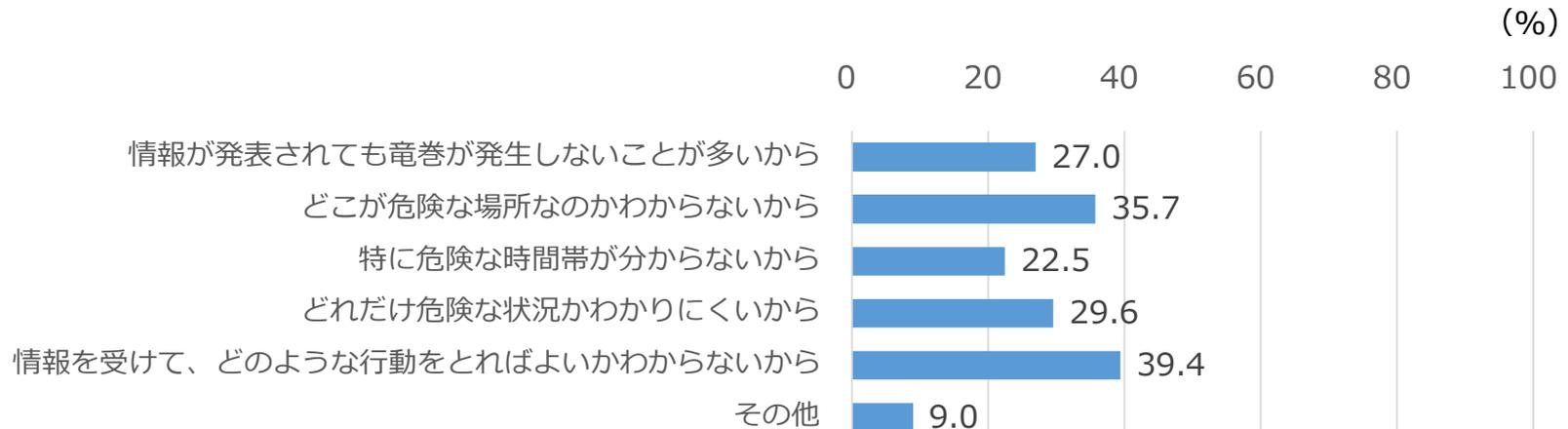


N（回答数）
=851

【平成28年度調査】

「竜巻注意情報」を利用していない理由（当てはまるものを全て選択）

対象：竜巻注意情報を認知しており、利用していない人



N（回答数）
=378